

全国の都道府県レベルでの 共通目標・共通指標を用いた活動の現状

国立がん研究センターがん対策情報センター

加藤雅志

都道府県レベルで がん診療の質の向上を目指す取り組み

- 1 研修会の開催
- 2 相互評価の実施
 - 2-1 会議や研修会での相互評価
 - 2-2 実地訪問による相互評価
- 3 都道府県内で共通目標を設定した改善活動の実施

都道府県レベルのがん診療の質向上のための取り組み状況

第12回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会（2019年7月10日開催）資料

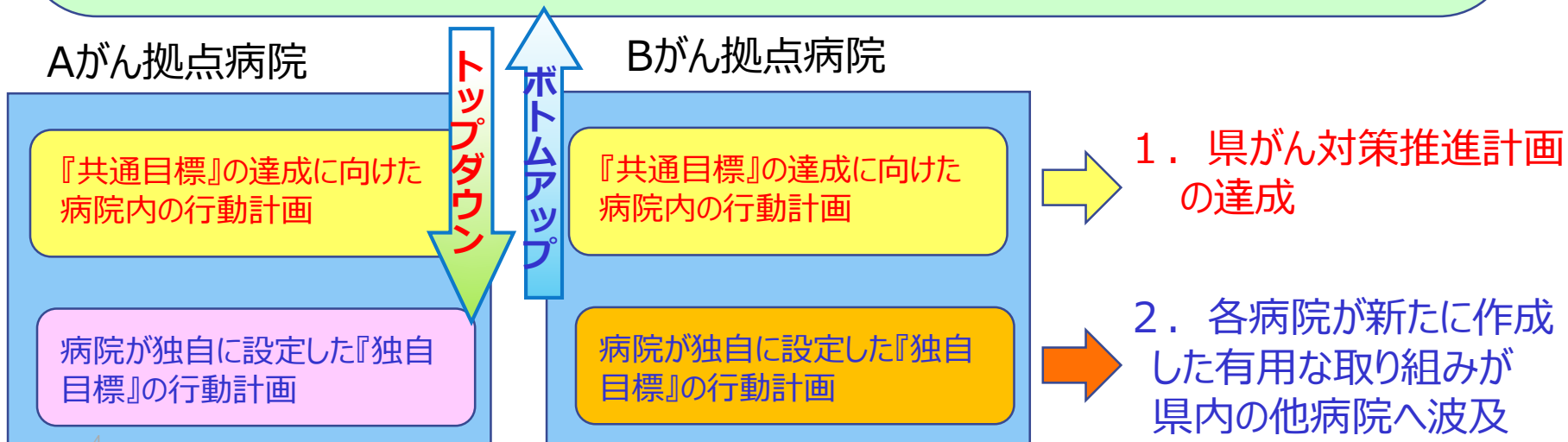
第13回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会（2020年11月5日開催）資料をもとに作成

	2019年		2020年	
	n	%	n	%
	N=47			
都道府県内のPDCAサイクルの確保に関する責任者を決めている	29	61.7	31	66.0
都道府県内のPDCAサイクルの確保に関する実務担当者を決めている	33	70.2	35	74.5
都道府県レベルでPDCA確保の取り組みを開始している	35	74.5	38	80.9
都道府県内のPDCAサイクル部会・委員会等で、問題や課題を整理している	28	59.6	26	55.3
都道府県内で達成すべき共通の目標を設定している	25	53.2	26	55.3
都道府県内の共通目標は「都道府県がん対策推進基本計画」に基づいている	20	42.6	24	51.1
共通の目標達成のために、各がん診療連携拠点病院が行動計画を立案している	17	36.2	26	55.3
各がん診療連携拠点病院が立案した行動計画の進捗状況について、都道府県内のPDCAサイクル部会・委員会等で確認している	17	36.1	21	44.7
都道府県内で設定した目標達成状況について、PDCAサイクル部会・委員会等で評価している	19	40.4	18	38.3

都道府県レベルでがん拠点病院が取り組む PDCAサイクル確保モデルの一例

各都道府県がん診療連携拠点病院が開催する「県がん診療連携協議会」等

1. 「**県がん対策推進計画**」の達成を目指した**目標の設定**、指標の決定、評価の時期や方法を含めた**実行計画**の作成。
⇒ **県内のがん拠点病院の『共通目標』の設定**
2. 各がん拠点病院が、医療の質を向上させていくために独自に設定した**目標**、その達成に向けた**計画**、その結果等について共有し、有用な取り組みについて他のがん拠点病院も積極的に取り入れていく。
⇒ **各がん拠点病院が設定する『独自目標』を、他のがん拠点病院と共有**



都道府県レベルでのがん診療の質を 向上させていくための取り組み

都道府県計画に基づく共通目標の設定

各都道府県の「**がん対策推進計画**」に基づいて
都道府県内の各病院が共通で目指す

「**共通目標**」を設定する。

活動の状況を評価するための

「**共通指標**」を可能な限り設定する

「**共通目標**」を達成するために、
各病院が「**施設目標**」を定め、
「**施設計画**」を立案する。

各都道府県で進めていくときのグループワークの手順

目的 1 : 都道府県単位での緩和ケアの質の向上に向けた取り組みを進めていくための「都道府県内の共通目標」を定める

- ①自分たちの県が緩和ケアに関してどのような県になってほしいのかグループ（複数病院・多職種で構成されるグループ）で話し合う。
- ②県内で、がん拠点病院等が共通で目指す「共通目標」の候補をグループ内で羅列する。
- ③ 羅列した「共通目標」の候補の中から、「自県で採択したい共通目標」を選ぶ。（1つでも良いし、複数でもよい）
- ④会場全体で、自県が目指す「共通目標」を選ぶ
- ⑤選んだ「自県で目指す共通目標」の進捗状況を測定する「共通指標」案を考える（直接測定できない場合は、代替指標を考える）

目的 2 : 各病院が自分たちの「施設目標」「施設計画」を作る

- ⑥病院単位でグループを作り、選んだ「共通目標」を達成するために、自分のたちの病院の「施設目標」「施設計画」について話し合う